

平成23年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月8日調査)

| 品種名 | 年度 | 草丈 cm | 茎数 本/m ² | 葉色 | | 葉 齢 |
|--------|----|-------------|------------------------|------------|--------------|------------|
| | | | | 葉色板 | SPAD値 | |
| コシヒカリ | 本年 | 30.8 (126%) | 142 (60%) | 4.0 (+0.2) | 32.7 (-2.0) | 6.2 (+0.1) |
| | 前年 | 21.0 | 111 | 3.4 | 29.9 | 5.9 |
| | 平年 | 24.4 | 237 | 3.8 | 34.7 | 6.1 |
| ひとめぼれ | 本年 | 29.0 (134%) | 91 (39%) | 2.6 (-1.2) | 23.6 (-12.2) | 5.9 (-0.3) |
| | 前年 | 21.8 | 144 | 2.8 | 28.6 | 6.2 |
| | 平年 | 21.6 | 234 | 3.8 | 35.8 | 6.2 |
| たかやまもち | 本年 | 30.2 (115%) | 87 (44%) | 3.3 (-0.5) | 24.2 (-9.3) | 5.8 (-0.1) |
| | 前年 | 22.5 | 64 | 2.6 | 25.8 | 5.4 |
| | 平年 | 26.2 | 197 | 3.8 | 33.5 | 5.9 |
| ひだほまれ | 本年 | 31.5 (118%) | 78 (42%) | 3.1 (-0.6) | 23.4 (-10.8) | 5.9 (-0.3) |
| | 前年 | 23.9 | 109 | 2.9 | 30.4 | 5.9 |
| | 平年 | 26.8 | 184 | 3.7 | 34.2 | 6.2 |

栽培条件: 移植5月18日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

移植直後の数日は平年より夜温が低かった。その後の5月下旬は雨天が多く、東海地方は5月27日ごろと、平年より12日早く、昨年より17日早い梅雨入りとなった。このため、日中の気温は低く、日照時間が少ない日が続いた。6月に入り降雨は少ないものの、日中の気温が低く日照時間が少ない状態のまま推移している。

2) 生育状況

草丈は、いずれの品種も平年を大きく上回っているが、茎数は平年対比39%~60%と少ない。植付時の茎数は、4(本/株) × 22.2(株/m²) = 89(本/m²)であり、「コシヒカリ」以外の品種ではほとんど分けつしていない状態である。

葉色は、「コシヒカリ」ではほぼ平年並みの値となっているが、その他の品種では葉色板、SPAD値とも平年よりかなり値が低く、葉色が淡い状態となっている。葉齢は、「コシヒカリ」と「たかやまもち」で平年並みとなっているが、「ひとめぼれ」と「ひだほまれ」ではやや平年より遅れている。

移植後、日中の気温があまり上がらず日照不足となったことにより、「軟弱徒長」の状態となっている。

3) 病害虫等の発生状況

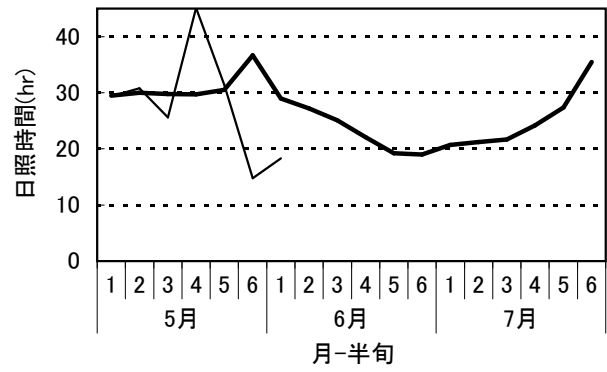
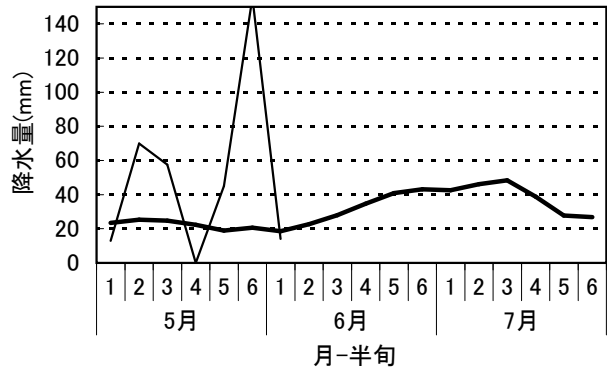
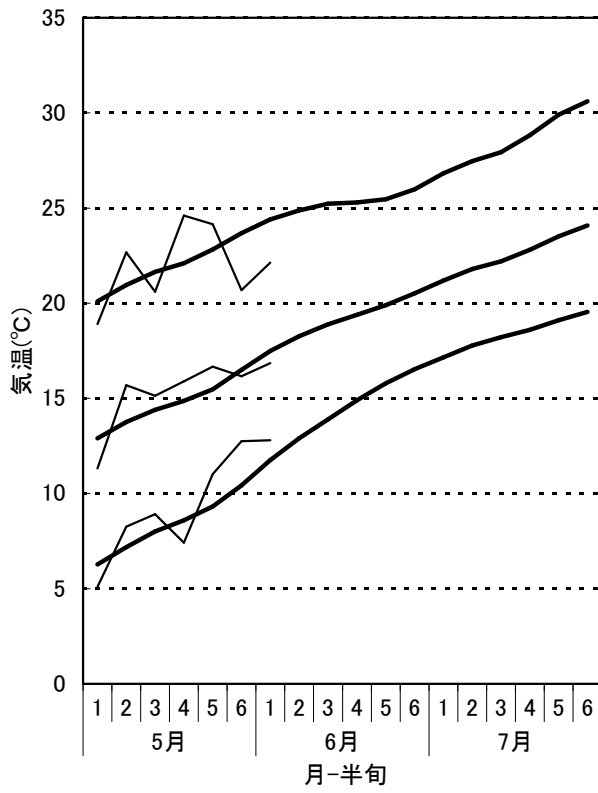
アオミドロ・藻類やこれらによる表層はく離が見受けられる。また、ノビエの他、多様な雑草が発生しており、平年より発生時期が早まっているものもある。イネミズゾウムシが5月末から発生し、食害痕が見られるとともに成虫が散見される。

4) 今後の管理

除草剤の処理時期との兼ね合いもあるが、梅雨の晴れ間に早期中干しを実施すると良い。生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策のため、いったん落水してから2~3日干し、田面に細いヒビが入ったら入水する。干し過ぎずに田面を軽く固める程度とする。また、地温の上昇を促進するには浅水で管理すると良い。

生育は悪いが、過度の追肥は倒伏やいもち病の原因となるので注意する。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 6月5日現在)



— 平年(1971~2000年) — 本年(2011年)

岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>